

平成31年度 専攻科入学試験問題及び解答用紙 (学力)

建築・都市システム工学専攻 専門科目 (建築計画)

受験番号	
------	--

問1 次の () に下から選んだ適当な語句を記入しなさい。

- 1) 重源によって建設された大仏様建築 (兵庫県)
()
- 2) 折衷様の傑作で、開放的な造りや大きく反りの強い屋根などの特徴をもつ (兵庫県)
()
- 3) 日本書紀や古事記にも登場する神社で、本殿は大社造で国宝に指定されている (島根県)
()
- 4) 五重塔と共に現存する世界最古の木造建築で、ユネスコ世界遺産にも登録されている (奈良県)
()
- 5) 建築家藤井厚二の自邸である環境共生住宅 (京都府)
()
- 6) イスタンブールにあるイスラム教モスクに転用されたビザンツ様式を代表するキリスト教の大聖堂建築 (トルコ)
()
- 7) パリのシテ島にある尖塔アーチの出入口やバラ窓が特徴的な初期ゴシック建築の代表的な聖堂 (フランス)
()
- 8) ブルネレスキにより建設された大ドームを持つルネサンス様式の代表的な大聖堂 (イタリア)
()
- 9) れんがとコンクリートにより造られた大ドームを特徴としたローマ建築の代表的な聖堂 (イタリア)
()
- 10) 古代ローマ時代に建造された円形闘技場 (イタリア)
()

浄土寺浄土堂、法隆寺金堂、鶴林寺本堂、出雲大社、日光東照宮、中尊寺金色堂、東大寺南大門、聴竹居、箱木家住宅、ピサ大聖堂、ハギア・ソフィア大聖堂、フィレンツェ大聖堂、コロッセオ、ノートルダム大聖堂、パンテオン

問2 次の () 内に最も適する人名を記入しなさい。

- 1) 古代ローマの建築家 () は、最古の古典である著書『建築に関する十巻の書』の中で、建築は「用」「強」「美」の三つの要素を兼ね備えるべきだと提唱した。
- 2) 近代建築の巨匠の一人である () は落水荘や帝国ホテルなどの設計で有名である。
- 3) 建築家 () は、1919年にドイツのワイマールに設立された総合的造形学校バウハウスを創設し、初代学長を務めた。
- 4) () は、著書『都市のイメージ』の中で、都市のイメージを構成する5要素 (パス、エッジ、ディストリクト、ノード、ランドマーク) を提唱した。
- 5) モダニズム建築を批判しポストモダンを提唱した () は、ミース・ファン・デル・ローエが提唱した「Less is more」を「Less is bore」と皮肉った。

平成31年度 専攻科入学試験問題及び解答用紙 (学力)

建築・都市システム工学専攻 専門科目 (建築計画)

受験番号	
------	--

問3 次の () 内に適当な語句または数字を記入しなさい。

- 1) 大阪府に計画された千里ニュータウンでは、アーサー・ペリーが提唱した () や、歩車分離の設計手法である () の考え方が取り入れられた。
- 2) 1898年、エベネザール・ハワードは () 構想を発表した。土地の公有、人口の制限、開発利益の社会還元、自立性の確保などを理念とするこの構想に基づき、1903年、レッチワースが建設された。
- 3) () とは駅前によく見られる高架の歩行者専用の通路のことで、空中歩廊ともいわれる
- 4) 1970年代のオランダで試みられた歩者共存型の道路である () という手法が我が国にも導入され、“コミュニティ道路”として各地で普及している。

問4 次に示した美術館を設計した建築家を下記から一つ選び、該当する番号を () 内に記入しなさい。

- | | | |
|------------------|------------------|--------------|
| 1 () 青森県立美術館 | 2 () 金沢 21世紀美術館 | 3 () 根津美術館 |
| 4 () 十和田市現代美術館 | 5 () 兵庫県立美術館 | 6 () 豊田市美術館 |
| 7 () 国立西洋美術館 | 8 () すみだ北斎美術館 | 9 () 国立新美術館 |
| 10 () 安曇野ちひろ美術館 | | |

1. 黒川紀章 2. 内井昭蔵 3. 妹島和世 4. 内藤廣 5. 隈研吾 6. ミース・ファン・デル・ローエ
7. 安藤忠雄 8. ル・コルビュジエ 9. 西沢立衛 10. レンゾ・ピアノ 11. フランク・O・ゲーリー 12. 青木淳
13. 坂倉準三 14. 谷口吉生 15. SANAA 16. 伊東豊雄 17. ダニエル・リベスキンド 18. 丹下健三 19. 磯崎新

問5 次の () 内に下から選んだ適当な語句を選び、その記号を書き入れなさい。

一般に寸法のシステムを () と呼ぶ。これは古代ギリシャにおける建築術の用語 () が語源とされる。ル・コルビュジエは、人体寸法と黄金比からなる基準寸法 () を用いて設計をおこなった。

学校建築や病院建築、公共住宅などでは設計が標準化されることが多い。1951年に東京大学の () 研究室によって提案された「51C型」と呼ばれる公営住宅の平面には住み方調査の成果が大幅に取り入れられ、() 分離と寝室分離という2つの原則が計画の軸となっている。

近年、クラスを固定せず複数の教師で分担し授業を展開する () 方式や無学年制、学習の個別化やプログラム学習方式など多様でフレキシブルな教育システムが増えてきている。学校の運営方式には、クラスルームやその周りで大部分の学習生活活動を行う総合教室型、全教科が専用の教室を持ち生徒が教室を移動して授業を受ける () 型、全クラスを時間帯で普通教室群と特別教室群に二分し、時間を分けて入れ替える () 型などがある。

集合住宅は大きく低層集合住宅と中高層集合住宅の2つに分けることが出来る。低層集合住宅には、専用庭を持つ () やタウンハウスなどがある。中高層集合住宅を通路形式により分類すると、階段室型、廊下型、2～3階おきに廊下を設けて他の階は廊下階から階段を利用する形式の () 型がある。

1. プラトゥーン 2. モジュール 3. 教科教室 4. 特別教室 5. オープンスペース 6. チームティーチング
7. 食寝 8. モデュール 9. 木割り 10. 吉阪隆正 11. モデュロール 12. 西山卯三 13. コモンアクセス
14. スキップフロア 15. メゾネット 16. デイルーム 17. フィンガー 18. 吉武泰水 19. テラスハウス